

24年度 春山合宿山行報告書			報告者	館谷	参加メンバー	CL 館谷 鈴木よ、福岡、根芝
			報告日	5/9		
山域	白山	山行日	2024/04/27~29			
山名	白山・別山					
山行目的	部員のレベルアップ、相互親睦					

配布先
集会：12
山行：1
リーダー-
原紙：集
会担当者

ルート図



【山行報告】

<第1日> 4/27 (土) 晴時々曇り【鈴木 記】

【行動記録】 行動時間：4H56M

市ノ瀬発(07:58)→別当出合(09:33)→中飯場(10:39)→別当覗(11:58)→甚之助小屋(12:55)

確認
(リーダー)

館
24.05.02
谷

作成
(報告者)

館
24.05.02
谷

7:30 市ノ瀬ビジターセンターに集合。現地集合の根芝、福岡と合流し予定よりも早めにスタート。気温は4月にしては、非常に暖かい、辺りには全く雪がなく山を望んでもかなり雪が少なそうだった。別当出合までは、舗装路の5.6 km、結構早いペースで歩き90分で到着。冬靴で舗装路を早足で歩いたため、踵に若干靴ズレっぽい痛み、テーピングにて補強を施した。根芝は、暑さのためか既に体力を奪われた感じだった。これが後に尾を引くことになる。

9:46 別当出合を出発、吊り橋には、板が敷かれスムーズに渡ることが出来た。登山道を登り始めて少ししたところで、根芝が体調不良を訴えたため速度を落としてゆっくり登ることにした。なかなか雪が現れず風もなく、夏山を思わせるほどの暑さで皆、全身汗まみれであった。

10:40 中飯場の水場では、蛇口が閉鎖されており給水できずであった。そこを少し過ぎた辺りで1本休憩、ようやく雪が出だすが暑さは続く、根芝の体調は思わしくなく、水分をかなり補給しながら行動した。夏道から外れて雪上を直登する場面では、軽い藪を分けながら進む、体力ダウンしている根芝にとってグズグズの雪と軽い藪漕ぎは、身体に響くらしく速度が著しく低下する。

ここで根芝から名言？(迷言?)は発せられた
★「これは、雪と藪のミックスだ」と・・・
その後も暑さとグズグズの雪上歩きが続いた。疲労がたまる中で本日の宿泊予定の室堂までは時間がかかりそうであった。

12:55 甚之助避難小屋で大休憩、室堂まであと3時間ほどかかりそうであった。根芝の体調不良のため室堂までは、無理そうと判断し計画を変更し、甚之助避難小屋泊とすることにした。室堂まで行けば水場があるという情報であったため、水を携行して来てなかった。

新雪も全くなかったため雪を深く掘り綺麗な雪を掘り出し溶かして水を作った。館谷持参のろ過機での美味しい水で鶏鍋を作りのんびり食した。夕日が日本海に沈むため日が長く18:30を過ぎててもまだまだ明るかったが、2日目の行動が朝早いので早目に就寝した。



軽い藪漕ぎ



水づくり

<第2日> 4/28(日) 晴天【根芝 記】

【行動記録】 行動時間：10H

甚之助避難小屋発(04:30)→南竜山荘(05:20-05:30)→室堂(06:50-07:00)→御前峰(07:40-08:00)→室堂(08:30-08:40)→南竜山荘(09:20-09:40)→油坂の頭(10:40-10:50)→一本(11:30-11:35)→御舍利山(12:30-12:45)→別山(13:00)→御舍利山(13:15-13:30)→チブリ尾根避難小屋(14:30)



南竜へ向かう

3:30 起床、カニ缶を3つも入れた贅沢な雑炊が朝食。他のパーティは朝から雪を溶かしていたが、我々は前日に雑炊用の水を作っておいたため、スムーズに調理することができた。

4:30 アイゼンを装着し歩き始め。前日と違い、雪が夜のうちに締まって歩きやすい。まずは南竜山荘を目指す。前日の体調不良を考慮し、南竜山荘に荷物をデポして身軽な状態で御前峰に向かうためだ。

7:40 雪のコンディションと早朝の清涼な空気のおかげで順調に進み、御前峰に到着。強風のため、20分ほど写真休憩を取り早々に室堂へ。積雪期用の水場がきちんと整備されており、がぶ飲みした。美味しかった。

9:20 南竜山荘に戻り、作戦会議。予定通りチブリ尾根を縦走するか、来た道に戻り下山するか。ここまでで5時間行動した感じから、本調子とは言えないものの問題なく歩けそうと判断しCL館谷に申告。

しかし、これからどんどん気温は上昇し雪も緩むことから前日の二の舞になるのではと心配され、交渉は難航。他のメンバーの口添えもあり、少しだけ歩いてみてだめそうならすぐ戻るということで合意し、歩き出す。

13:00 途中休憩をはさみながらも、そこそこ順調に別山に到着。標高差100m~200mのアップダウンを何回か繰り返したが、登りの際に男性陣が代わる代わるトップでステップを切ってくれ、体力を温存しながら歩けた。

それにしても、暑い。熱中症を警戒し積極的に水分を取ったこともあり、水が残り少なくなっていた。あとはチブリ尾根避難小屋まで下るのみなので問題なかったが、前日のような異常な発汗があったら危なかったかもしれない。



御前峰



グズグズの雪面



チブリ尾根避難小屋

14:30 チブリ尾根避難小屋に到着。雪の少なさを心配していたが、小屋周りにまだ雪が残っていたため、すぐに水作りに取り掛かる。メンバー全員分の飲料水と夕食・次の朝食分までを含め、1時間45分、水を作り続けた(作りながらぶ飲みした。美味しかった)。

暑すぎて外にいられず、夕飯は小屋内で取る。野菜入りのフリーズドライの牛丼で、美味しく頂いた。本日の小屋利用者は我々だけのようで、スペースを贅沢に使いながら入念にストレッチ、明日の下山に備える。

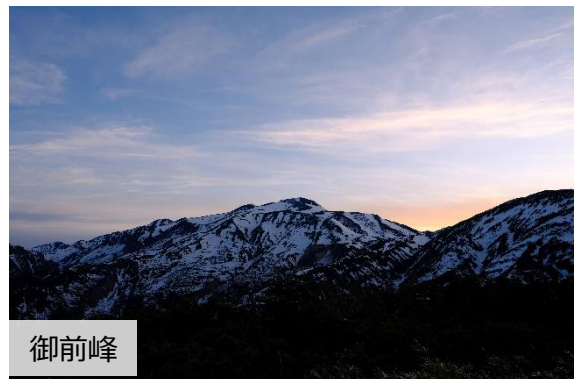
<第3日> 4/29 (月) 晴 【館谷 記】

【行動記録】 行動時間: 2H47M

チブリ尾根避難小屋発(05:11)→水場(06:40-06:50)→猿壁登山口(09:33)→市ノ瀬(7:55)

4:00 起床。前日につくった水を火にかけ、お湯を沸かして各自朝食をとる。麓で入浴するための時間調整として5:30出発と計画しゆっくりしていたが、テントの撤収がないため準備が早い。最後に小屋内を掃除し、やや早めに出発。前日より雲が出ていたが、穏やかで気持ちの良い気候だ。

標高的にしばらく雪の上を歩くことが想定されたためアイゼンをバックパックに外付けしていたが、前日ほど締まっておらず、最後までツボ足で歩くことができた。



御前峰

市ノ瀬への林道が開通してから、別山への日帰り登山者が複数人入っており、入り乱れるトレースに惑わされやや右往左往しながら下山していく。標高を落とすにつれ夏道を歩けるようになり、それに伴って高山植物や山菜が増えてくる。最後に舗装路を20分ほど歩き、7:55市ノ瀬へ下山。時間が早いので近場での入浴を諦め、その場で解散とした。



笹藪



オオカメノキ



ハンター鈴木

【食料】(福岡)

■ 1日目夕

鶏肉鍋 (鍋キューブ5、カット野菜、鶏肉600g)
 メラーメン (マルちゃん製麺4)

■ 2日目朝

カニ雑炊 (鍋キューブ2、玄米ごはん160g×3、
 カニ缶55g×3、フリーズドライ親子丼2)

■ 2日目夕

牛丼 (フリーズドライ牛丼 + アルファ米 + 乾燥やさい)
 味噌汁 (フリーズドライ)
 サラダ (ミックスビーンズ + とりささみ)

■ 所見

メンバが1人体調不良で不参加となったが、1日目食料は用意済みであった5人分で調理した。一方で、多めに用意した5人分の食料でもメンバ4人で問題なく食べることができ、より多めの食料を準備する必要を感じた。

また、2日目夕は高温予報であったため、夏山と同程度に日持ちする食材を選択しつつ、野菜やタンパク質などバランスよい食事となるように工夫した。



【装備】（鈴木）

ガス缶は、M缶新品を2本準備した。

M缶（230g）新品1本で食事用、行動用の水約10Lをバーナーで作れた。（今後の参考になりそう）

厳冬期では、L缶を準備したい。

テントは、メンバーが直前で5名→4名となったためV6からエスペースEに変更、

重量的には約半分くらいになる。

テント携行したが避難小屋が使えたため今回使用せず。

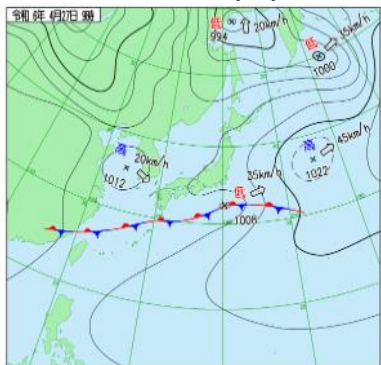
【会計】

車（鈴木号）：14,690円

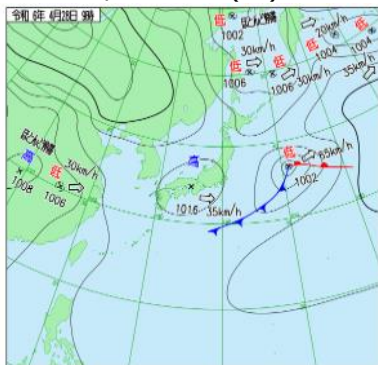
食料：9,000円

【気象】

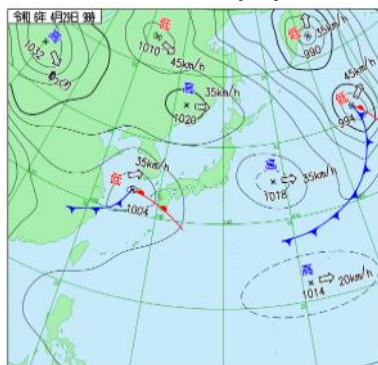
第1日 4/27 9:00(晴)



第2日 4/28 9:00(晴)



第3日 4/29 9:00(晴)



【リーダー所見】（館谷）

今年の春山合宿は、10年前と同じ白山～別山縦走。出発前、麓から見上げ雪の少なさに不安になったが、水づくりに困らない程度には積雪があった。本山行の反省点として、必要な水をすべて雪からつくった場合の見積もりができていなかった。結果的にはM缶2つを使い切ることはなかったが、非常時に備えて3つ持参すべきであった。また、メンバーが体調不良となり、難しい判断があったが、パーティで相談し適切に対処できたと思う。メンバー・サポートしてくれた方々に感謝。

【メンバー感想】

久しぶりの縦走で重い装備を背負っての山行と異常な暑さでなかりバテた。

SLであったため頑張ってパーティーの先頭を登っていたが2日目後半は疲労が蓄積し福岡、館谷に助けもらった。体力をもっとつけないといけないと感じた。しかし縦走雪山は、楽しいと思った。（鈴木）

久々の合宿参加ということもあり、反省の多い山行となった。初日の市ノ瀬～別当出合間の6kmの車道歩きで暑さにやられたこと、軽量化のために導入したULザックが荷重をうまく分散できなかつたり外付け荷物が不安定だったり、想定以上の水の消費など。とはいえ、ある程度の荷物を担いで2泊3日の行程を歩き、心配していた股関節や膝の痛みも出なかった。復活も近い？かもしれない。（根芝）

重い装備を背負っての縦走は久しぶりで不安でしたが、好天にも恵まれ充実した山行でした。特に2日目の縦走路では、遠くの北アルプスや振り向いて見える御前峰、これから向かう別山の素晴らしい景色を満喫することができました。一方で、縦走路では緩み始めた雪や高温と照り返しで体力を消耗して芍薬甘草湯に数回お世話になりましたが、先頭を引っ張っていただいた鈴木さんや館谷さんのおかげで歩ききることができました。メンバおよびサポートいただいた方々、ありがとうございました。（福岡）